

地域クラブの活動日数について

前回の協議会において、今後の方向性として地域クラブの活動日数を週3日（平日2日・休日1日）と事務局より示したところ、様々な御意見をいただいたことから継続協議とし、再度検討をしたもの。

1. 検討の視点

重点ポイント

①市が目指す地域クラブのあり方

本市の地域クラブ活動は、出来るだけ部活動の教育的意義を継承するため、過度に「勝つこと」や「成績」のみを追求する、勝利至上主義にとらわれることなく、多様なレベルの生徒が自主的・自発的に参加しやすい活動の場を提供する。ただし、楽しみつつも技術の向上を図りながら、生涯を通じてスポーツ・文化芸術活動に親しむ基礎を培うことができる活動を目指している。

②平日の指導者確保の観点

平日の活動時間を放課後から日没までを基本とする中で、指導者の確保が課題と考えており、全地域クラブの競技・種目等において指導者の充足が見込める活動日数とする必要がある。

③生徒に対するアンケート結果

令和6年5月に実施した児童・生徒へのアンケートでは、地域クラブ活動の活動日数に関して、小学生が平均希望日数3.0日（表1）、中学生が3.6日（表2）となっており、こうした中で、特にレクリエーション志向等の生徒にとっては、活動日数が多く、競争や勝利を重視する姿勢が強まるほど地域クラブ活動に参加することを躊躇することも推察される。

表1【小学生・地域クラブの希望活動日数】※参加希望の地域クラブ別で集計

分類	希望活動日数							
	平均	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
全体	3.0日	15.3%	23.3%	27.9%	19.3%	8.9%	3.3%	2.0%
運動クラブ 全体	3.2日	12.8%	21.5%	27.8%	20.9%	10.1%	4.3%	2.6%
文化クラブ 全体	2.7日	20.2%	25.5%	31.6%	15.1%	5.9%	1.1%	0.5%
吹奏楽	3.1日	13.8%	19.0%	28.4%	25.9%	8.6%	3.4%	0.9%
吹奏楽以外の文化クラブ	2.6日	21.7%	27.0%	32.3%	12.6%	5.3%	0.6%	0.4%
意向無・無回答	3.0日	15.5%	23.9%	26.8%	19.4%	9.0%	3.3%	2.1%

表2【中学生・地域クラブの希望活動日数】※現在所属している部活別で集計

分類	希望活動日数							
	平均	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
全体	3.6日	9.3%	15.6%	21.9%	23.6%	18.1%	7.1%	4.3%
運動部 全体	3.8日	7.3%	12.9%	21.4%	24.3%	21.2%	8.3%	4.7%
文化部 全体	2.9日	16.1%	23.5%	25.9%	22.5%	8.5%	2.4%	1.0%
吹奏楽部	3.5日	11.8%	13.6%	20.9%	30.5%	17.3%	4.1%	1.8%
吹奏楽部以外の文化部	2.7日	18.1%	28.0%	28.2%	18.9%	4.5%	1.6%	0.6%
無所属	3.8日	8.9%	17.4%	18.7%	21.5%	17.7%	8.1%	7.7%

④多様な活動機会の提供

学校部活動の地域移行の趣旨の一つとして、生徒の多様な活動機会を創出することも求められている。地域クラブ活動以外での時間を確保することや、地域クラブ活動においても、多様な活動ができるように取り組む必要がある。

一つの競技・種目の活動日数を週3日(平日2日・休日1日)にすることにより、空いた日に他の活動に参加することも可能となり、いわゆる兼部も可能となる。

⑤施設利用の適正化

現行の部活動では、体育館など施設を同じ時間帯でシェアしながら活動しており、例えば屋内の運動部が屋外での練習をしなければならないなど、施設の飽和状態も見受けられる。

活動日数を週3日(平日2日・休日1日)にすることにより、各競技の活動日を分散させ、施設の飽和状態を回避し、効率のよい充実した活動が可能になる。

⑥会費への影響

活動日数により指導者報酬が増減し、それが会費負担に影響するため、市が考える地域クラブ活動の在り方や、適切な公費負担の在り方も踏まえた上で活動日数を見極め、可能な限り低廉な会費となるよう配慮する必要がある。

(7)会費の適切な設定と保護者等の負担軽減

ア 地域クラブ活動の運営団体・実施主体は、生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な会費を設定する。

(学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(令和4年12月))

⑦活動休止期間の振替

現在の学校部活動は、テスト週間等による活動休止期間が年間7週程度あり、活動週数は年間45週程度である。

活動日数は週当たり3日(平日2日・休日1日)を基本としながらも、活動休止期間21日(3日×7週)の活用については、各クラブの判断に委ねる柔軟性を持たせた運用を可能とすることにより、大会前等の活動日数の確保が望まれる場合にも対応が可能となる。

【部活動の年間活動週数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
年間週	4週	5週	4週	5週	4週	4週	5週	4週	4週	5週	4週	4週	52週
実施週	4週	4週	3週	5週	3週	4週	4週	3週	4週	4週	3週	4週	45週
活動休止期間	-	1週 ※テスト週間	1週 ※テスト週間	-	1週 ※盆休み等	-	1週 ※テスト週間	1週 ※テスト週間	1週 ※年末年始等	-	1週 ※テスト週間	-	7週

【参考】活動休止期間を振替実施した場合の週当たりの活動時間】

		基本活動時間					地域クラブ	R7年度活動
		平日		休日		活動時間/週	平均活動時間	平均活動時間
		活動日数/週	活動時間/日	活動日数/週	活動時間/日			
①	計画通りに実施の場合 (3日×45週)	2日	2時間	1日	3時間	7時間	7.0時間	8.0時間
②	活動休止期間(3日×7週)分を 全て振替実施する場合(※)						8.1時間	

※仮に平日2時間、週当たり2日を振替実施する場合、12週に渡って週5日の活動が可能となる。

※各学校において季節毎の総下校時間を設定されているため、それを元に活動時間を算出したもの。

事務局案

上記の視点等を総合的に勘案し、地域クラブとしての活動日数は、週3日(平日2日・休日1日)を基本としたい。

ただし、年間活動日数は135日(3日×45週分)を基本としながらも、テスト週間や年末年始休暇等による活動休止期間21日(3日×7週分)については、年間活動週の45週に割り当てることを可能とする運営としたい。活動休止期間の活用は、各クラブの裁量に任せるものとするが、週当たりの活動時間は国のガイドライン(「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」)で示された範囲内とする。